

議会に挑み、練馬を拓く——。

練馬区議会議員

井上 勇一郎

わたしの情報は、ホームページ
または各種SNSでチェック!



井上 勇一郎
昭和59年3月16日生まれ 32歳

- ①平成28年度予算が可決 ②練馬区財政Q&A

YUICHIRO INOUE

Message ~ご挨拶~

地元の皆様のご支援によりまして、練馬区議会へと送り出して頂きました。早いことに約1年が経ちました。日頃からのご支援に改めて感謝申し上げます。練馬区議会では今年初めての定例会がおこなわれ、28年度予算に対して慎重に審議を重ねた結果、わが会派といたしましても認定をさせて頂きました。また審議の中では、先般より国政でも取り上げられております待機児童の問題、高齢者福祉の充実、そして将来的に持続可能な財政の運営を目指す為、一歩踏み込んだ責任ある施策を進める事など、各種問題に対しての改善を区に対し要望いたしました。

また、ご報告としまして連日ニュースなどで報じられている通り、民主党と維新の党の合併により、新たに民進党となりました。合併前は党名ばかりがクローズアップされてきましたが、私たちが今やらなくてはいけない事は、「党利党略」ではなく、しっかりとした政策を国民にお示しする事であると思います。練馬区議会民進党・無所属クラブといたしましても、是々非々で議論をおこなう責任ある政党を目指し、今後も全力で練馬区政に取り組んで参る覚悟でございます。

練馬区議会議員 井上 勇一郎

平成27年度 主な活動



2015年4月 選挙
秘書として仕えた松野頼久議員も応援に駆けつけて頂きました!



2015年5月
区内3消防署合同水防訓練に出動



2015年6月
練馬区議会民主党・無所属クラブ
井上 勇一郎 議員
本会議場にて初めて的一般質問を行いました



2015年7月
防災のテーマで会派視察
(立川広域防災基地・町田市)



2015年8月
避難拠点訓練に
消防団員として出動



2015年9月
茨城県豪雨災害で
ボランティア活動に参加



2015年10月
練馬区長に対して、新年度の
予算要望を提出いたしました



2015年11月
清掃・エネルギー等特別委員会視察
(宮崎大学・宮崎ソーラーウェイ)



2015年12月
区内各所でおこなわれている
歳末警戒に連日参加



2016年1月
成人式にて練馬の
魅力についてアンケート調査



2016年1月
練馬消防団始式に
参加いたしました

練馬区議会議員

いのうえ ゆういちろう

井上 勇一郎

昭和59年3月16日生まれ 32歳

- 向南幼稚園 卒園
- 向山小学校 卒業
- 開進第二中学校 卒業(野球部)
- 豊南高等学校 卒業
- 帝京大学法学部 卒業

- 常任委員会 環境まちづくり委員会
- 特別委員会 清掃・エネルギー等特別委員会
- 各種委員会 順天堂医学部付属練馬病院運営評議委員会・消防団運営委員会
- その他 練馬消防団班長



大学卒業後、民間企業を経て政治の世界に飛び込む。
小林興起元財務副大臣秘書、木内孝胤衆議院議員秘書
として練馬区内で活動し、2011年の練馬区議会議員選
挙に27歳で初出馬。3023票獲得も当選まで38票及
ばず惜敗。落選後、松野頼久元内閣官房副長官の秘書とし
て復職。与党秘書として議員会館勤務し、その後新党の立
ち上げに尽力。国会議員団代表秘書、秘書会事務局長、
公設第一秘書を歴任。

2015年の練馬区議会議員選挙に再挑戦。3349票を
獲得し、定数50人中35位にて初当選、現在1期目。

■事務所のご案内

関町事務所 〒177-0053 東京都練馬区関町南4-6-12-603 向山事務所 〒176-0022 東京都練馬区向山3-1-32

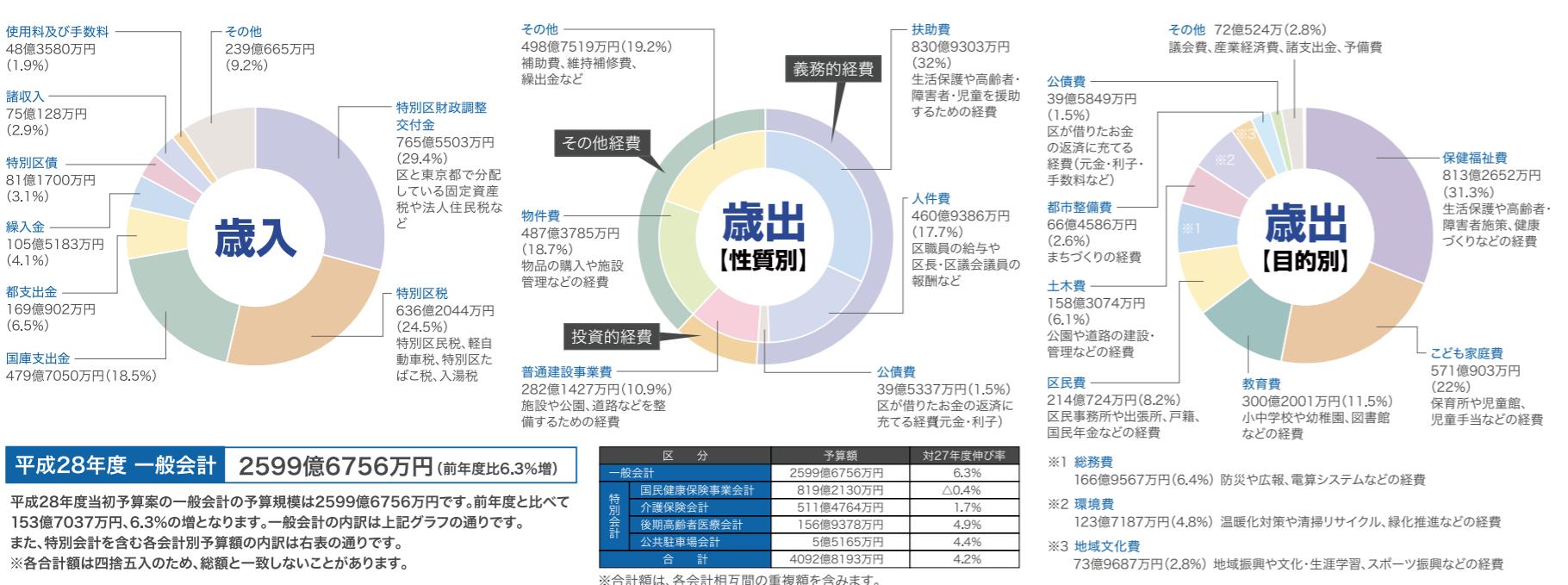
TEL 03-3926-7146 FAX 03-5848-2822 E-Mail inoue.nerima@gmail.com HP http://inoue-nerima.com

平成28年度予算が成立致しました。

平成28年度予算、一般会計予算歳入は総額2599億6755万円余と前年度より153億円、6.3%の増、また区税収入も0.7%プラスとなったが、年明けの経済では、海外の影響も大きく、株価の下振れが続き、設備投資も昨年の後半では9.8%も落ち込むなど、未だ実体経済の改善とはなっておらず、今後の世界的な経済危機の影響による区税収入の大幅減も不安視され、さらには法人住民税の一部国税化などの税制改正による区税収入への影響も懸念されることから、引き続き注視していくことが重要であります。

また、区立施設の維持管理など山積する将来課題に対しても、明確な目標を定め、区民と協働の下、積極的に区政運営に取り組まれていく事に期待し、平成28年度予算について賛成と致しました。なお、平成28年度一般会計補正額26億9036万円余は、これまでの「臨時福祉給付金」と低所得の高齢者や障害・遺族基礎年金受給者に向けた「年金生活者等支援臨時福祉給付金」が100%国庫補助で補正予算に計上されました。

平成25年に「税と社会保障の一体改革」で、消費税3%の増税に至ったものの、社会保障の改革に向けより前進していかなければならぬことから、この政策は、根本的な課題解決とはなりません。区としてもあらゆる機会を捉えて、スピード感をもち、国に対し社会保障改革への意見提言をしていくことを要望致しました。



平成28年度 一般会計 2599億6756万円 (前年度比6.3%増)

平成28年度当初予算案の一般会計の予算規模は2599億6756万円です。前年度と比べて153億7037万円、6.3%の増となります。一般会計の内訳は上記グラフの通りです。

また、特別会計を含む各会計別予算額の内訳は右表の通りです。

*各合計額は四捨五入のため、総額と一致しないことがあります。

*合計額は、各会計相互間の重複額を含みます。



練馬区財政Q&A

区の財政の疑問に、わたしがお答えいたします!



Q1 区の収入は安定しているの?

平成28年度の歳入総額(収入)は2599億円余を予定しておりますが、その内の収入の約6割は特別区税(区民税など)と特別区財政調整交付金で占めています。

区の収入の特別区財政調整交付金については、都市と地方の税源の偏りを理由に、法人住民税の一部国税化をおこない28年度は約58億円の減収となる予定です。また、平成29年4月に実施予定の消費税率10%の段階でさらなる国税化を進め、大幅な減収が見込まれます。

今話題の「ふるさと納税」についても、控除額は12,000人で約3.3億円の減収と試算されております。以上の事から、区の収入は下降の一途をたどっており、28年度も不足分は基金(貯金)を切り崩して耐えている状態です。今後の区財政は厳しい運営を強いられると予測されます。

Q2 厳しい財政状況で区の施設などは維持できるの?

現在練馬区には約682の施設があります。その内で、築30年以上経過しているものが約66%に達しています。これらの施設の改修・改築などにかかる費用は今後30年間で総額6450億円、年平均約215億円となり、現状の施設を全て維持していくことは極めて困難です。

現在区には様々な区立施設がありますが、建設当時から人口構成や社会状況も大きく変わっています。今の時代にあった区民ニーズを今一度調査し、ニーズに合わなくなっているものは見直し、民間委託できる施設は民間活用を進める事が必要です。さらにはニーズ調査の中で不要と判断された施設に関しては施設の売却など、一歩踏み込んだ議論をするべき時期に来ていると考えています。

またそれ以外にも、区立施設の一部の民間への貸付など(例えはコンビニエンス・ストアの出店など)税収に頼らない新たな収入を確保し、施設の維持経費の負担軽減をはかる事も必要であると考えます。

Q3 将来の練馬区の財政はどうなってしまうの?

28年度予算2599億円余は、27年度予算と比較すると約154億円の増加となります。区の予算規模は年々増加しており、過去6年間で約600億円増加しています。

Q1でお答えしたように、現在でも不足分を基金(貯金)を取り崩して運営を余儀なくされているわけで、このまま基金を取り崩し続けていくと、現在536億円ある基金が、平成38年度には底を尽き、極端な話では現在の区民サービスを維持していく事が困難になると予測されます。



その様な財政状態にならない為に、責任ある提案をします。

支出が収入を上回る状態のなか、区は収入を増やす工夫と、支出を抜本的に見直すことが求められています。高齢者、障害者福祉や各種区民サービスを、今後維持するためにも、まず既存事業のあり方の適正化をはかり、お金の使われ方であるインプットの「見える化」と、お金を使った結果どのような成果が生み出されたかを示すアウトプットの「見える化」の双方をおこなう必要があると考えます。また精査する中で、時には痛みを伴う改革であったとしても、既存事業の受益と負担の適正化を進める事が、結果的には区民サービスの低下を最低限に抑え、持続可能な財政運営につなぐ一歩であると考えます。

また、議員としても「あれもやります」「これもやります」と聞こえの良い政策を訴えるだけでなく、現在の区の厳しい財政状況を区民の方に説明することが必要であり、議員定数の削減など議会自ら身を切る改革も進めるべきであります。